

新型コロナウイルス感染防止対策について

京都府立丹後郷土資料館

新型コロナウイルス感染症の感染を防止し、来館者の皆様の健康と命を守るため、次の対策を講じますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

当館は、日本博物館協会「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従った取組を行っています。

区分	主な感染防止対策
密閉対策	・空調機の送風運転により、常時外気を取り入れ換気します。
密集対策	・受付で密集しないよう、十分な間隔（最低1m）を空ける工夫をします。（床に立ち位置明示等） ・展示室内は、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を確保し、1箇所集中した場合はスタッフがお声掛けします。
密接対策	・館内の混雑状況に応じて、入場列の間隔調整や入館制限を行う場合があります。 ・受付に透明なパーテーションを設置します。
衛生対策等	・館入り口に来館者用の手指消毒液を設置します。 ・咳エチケットとマスクの着用及びこまめな手洗いをお願いします。 ・館内の物品、ドアノブや手すりなど、手が触れる箇所の消毒や清掃を強化します。 ・スタッフは、マスクを着用して対応します。また、手指の消毒や検温等による体調管理を励行します。 ・金銭や資料を手渡さないことにより、手指の接触を防ぎます。
サービスの休止	・体験コーナー（ハンズオン展示）は当分の間、休止します。 ・トイレの使用のみの入館はお断りします。

◆ご来館の皆様へのお願い

- ▶来館される際には、咳エチケットとマスクの着用をお願いします。
- ▶入館時は必ず館入り口において手指の消毒をしていただき、入館後もこまめな手洗いを行っていただくようお願いします。
- ▶入館時は受付において連絡先をご記入いただき、接触確認アプリ等（京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こことろ」）をインストールしていただきますようご協力をお願いします。
- ▶感染防止のため、壁や展示ケースに触れないようお願いします。
- ▶展示室内での会話はお控えください。
- ▶発熱又は風邪の症状がある場合には、来館をお控えください。
- ▶発熱等の症状が見受けられた場合、又はサーモグラフィー等による検温により発熱が確認された場合は、スタッフがお声掛けさせていただき、退館をお願いする場合があります。
- ▶御家族や職場、学校など身近に新型コロナウイルス感染症の感染者、もしくは感染の可能性のある方は来館をお控えください。
- ▶館内の混雑状況に応じて、入場列の間隔調整や入館制限を行う場合があります。

◆イベント参加者の皆様へのお願い

- ▶発熱等の症状がある場合は、参加の自粛をお願いします。
- ▶イベントに参加する前に、接触確認アプリ等（京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こことろ」）のインストールをお願いします。
- ▶感染拡大防止のために連絡先のご記入をお願いします。
- ▶イベントに参加する際には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用をお願いします。また、こまめな消毒や手洗いなど、「新しい生活様式」に基づく行動の徹底をお願いします。
- ▶入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、いわゆる三密（密集、密接、密閉）の環境を避けるほか、そこにおける交流等をお控えください。
- ▶イベントに参加する前後には、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（感染リスクのある行動の回避）をとるようお願いいたします。